

# 藤棚 施工の手順-1/2

## 警告

- ・人が乗る強度は考慮していません。格子状のポールに乗りますと曲がり、または折れて落下する恐れがあります。
- ・耐積雪タイプではありません。積雪地でご使用になる場合は別途ご相談ください。
- ・全面吹き抜けの強度設計になっております。屋根や羽目板を付けますと強風時に破損する場合があります。
- ・可燃性ですので火を近付けないで下さい。

## 注意

- ・重量物ですので施工の際は十分注意して下さい。
- ・擬木は工場製作時（屋内）と施工時（屋外）の温度差によって伸縮し、全長や孔位置が変化します。施工直前まで覆いを掛ける等、直射日光に当てないように配慮下さい。

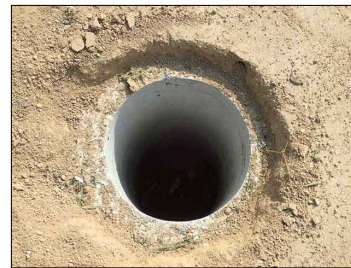
## 準備工具類

- インパクトドリル  
#2プラスドライバービット  
ソケットレンチ19mm・24mm
- 19mmラチェットレンチ・板スパナ  
又は、モンキースパナ
- 24mmラチェットレンチ・板スパナ  
又は、モンキースパナ
- ペンチ（番線カッター）
- シノ
- 水平器

### 1. 基礎（下部工）の準備

支柱の設置位置を確認し、コンクリート基礎（ブロック基礎・現場打ち基礎等）を準備してください。

【写真1】



【写真1】基礎部例（ポイド・コンクリートブロック）



【写真2】搬入部材例（金具類・擬木類）

### 2. 部材の確認

①支柱 ②梁 ③栈木（Cポール）④束 ⑤金具・ボルト類

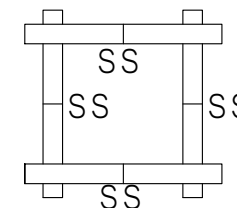
設計図又は納品書と部材の数量が一致するか、確認して下さい。【写真2】

#### ■部材の種類

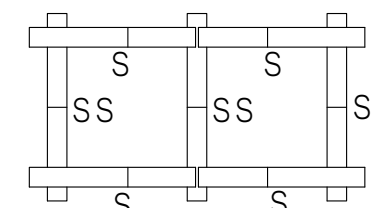
| 名称・種類                       | 形状            | 目安重量/数量 |         |         |
|-----------------------------|---------------|---------|---------|---------|
|                             |               | φ100梁   | φ120梁   |         |
| ① 支柱                        |               | 約49Kg/本 |         |         |
| ② 梁                         | SS：両側張出し用     |         | 約23Kg/本 | 約54Kg/本 |
|                             | S：片側張出し用      |         | 約23Kg/本 | 約49Kg/本 |
|                             | M：中間用         |         | 約20Kg/本 | 約43Kg/本 |
| ③ 栈木：Cポール（FRP管）<br>※キャップ取付済 |               | 指定本数    |         |         |
| ④ 束                         |               | 指定本数    |         |         |
| ⑤                           | 十字プレート        |         | 支柱と同数   |         |
|                             | 長ワッシャー        |         | 支柱と同数   |         |
|                             | M16寸切りボルト・ナット |         | 支柱と同数   |         |
|                             | M12ボルト・ナット    |         | 支柱の数×4  |         |
|                             | ビニル被覆番線（黒）    |         | 必要長さ    |         |

#### ■梁材の配置

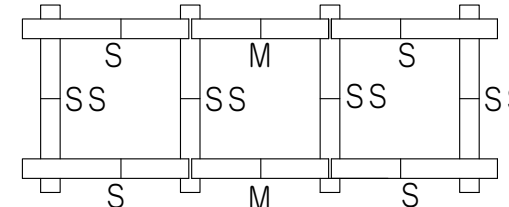
<PX3535/5050>



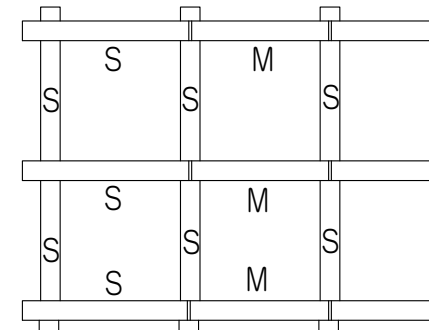
<PX3560/5090>



<PX3585/50130>



<PX6060/6085>



※記号は梁の種類を表す。



【完成例】

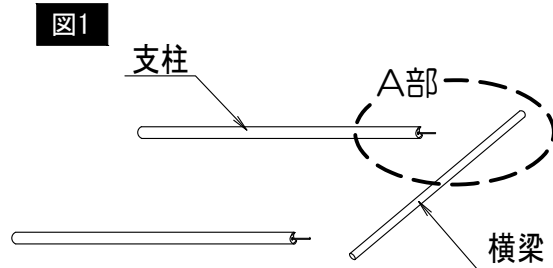
# 藤棚 施工の手順-2/2

## 3. 支柱と横梁の組立

①支柱を寝かせた状態で、横梁を取付けます。【図1参照】

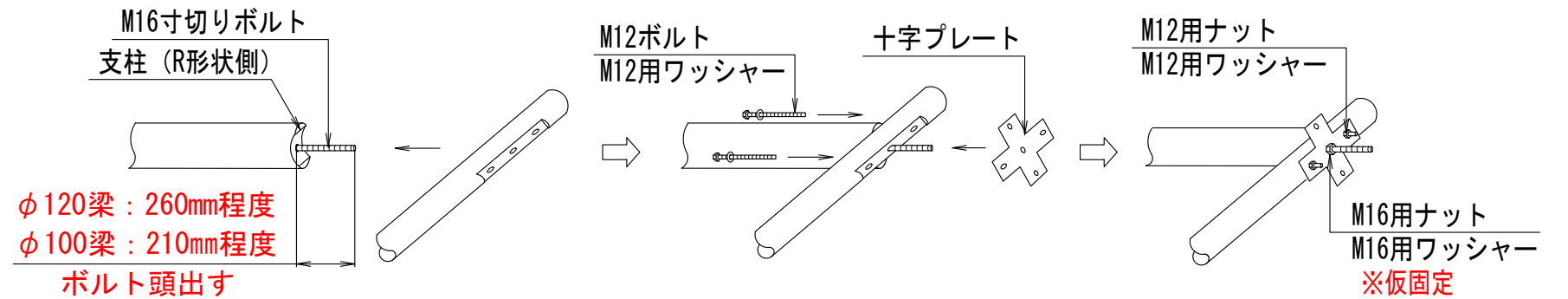
ボルトの出しろが210mm程度(φ100梁)または260mm程度(φ120梁)となるようにM16寸切りボルトを支柱天端(R形状側)にねじ込みます。【写真3】

②取り付けしたボルトに横梁の中央の孔を差し込みます。横梁の両端の孔にはM12ボルトを差し込み、十字プレートを通し、ワッシャー・ナットで固定します。【図2参照】



【写真3】ボルト取付

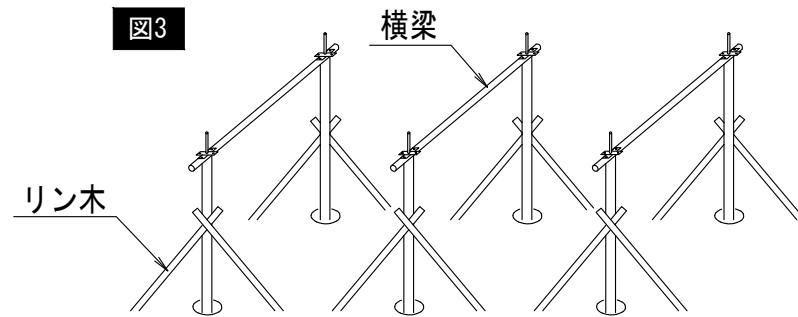
図2 (図1 A部詳細図)



## 4. 仮固定

①3. で門型に組んだ支柱・横梁を建て、図3のようにリン木で仮固定します。【写真4】

②図4のように十字プレートのボルトに縦梁を差し込み、長ワッシャー、ナットで固定します。【写真5】



【写真4】支柱 リン木固定

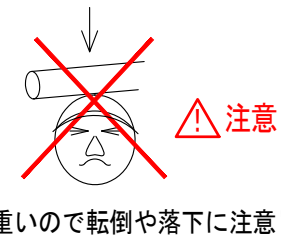
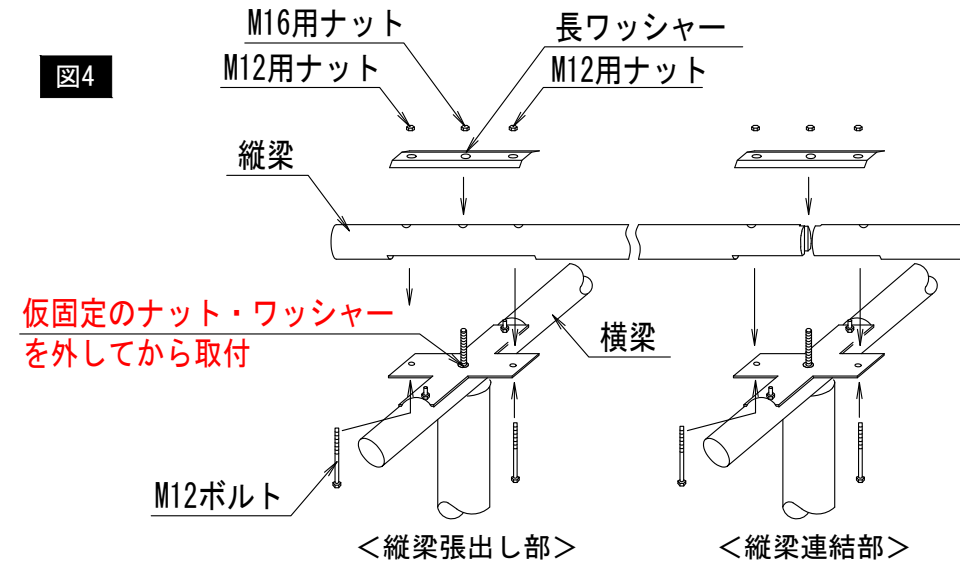


図4

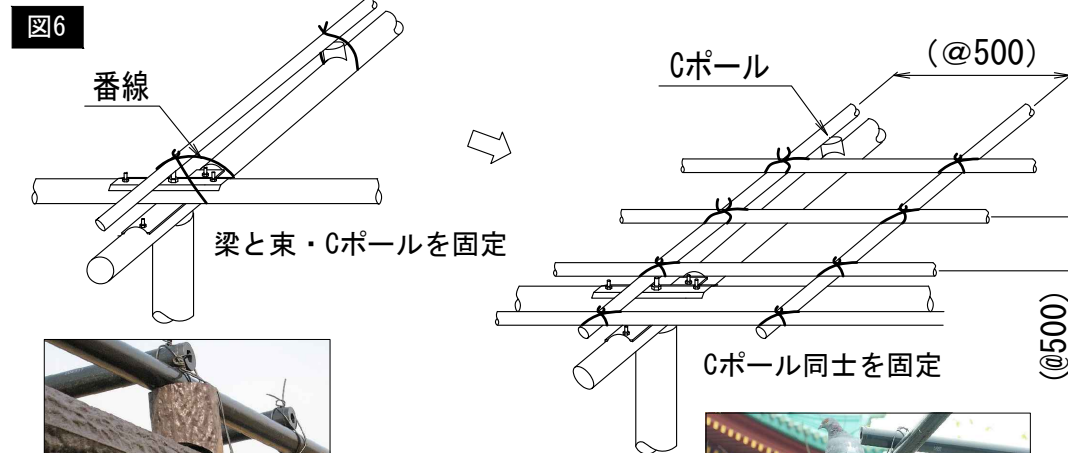
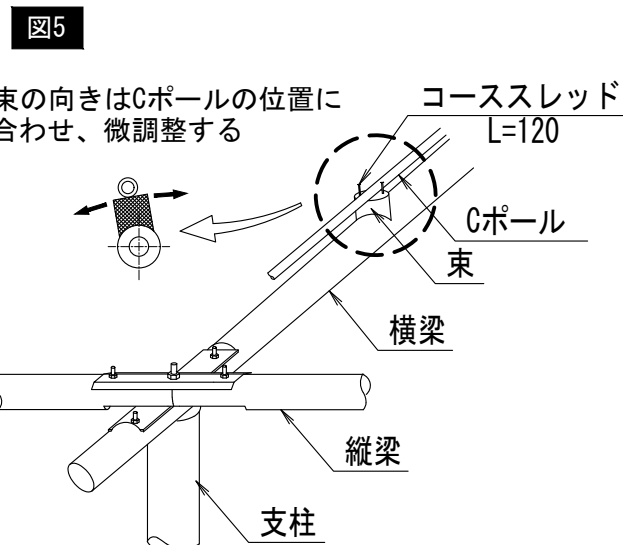


【写真5】縦梁設置

## 5. 束・Cポールの設置

①図5のように下側の梁(横梁)の支柱間中央付近に束を取り付け、Cポールを支えます。

②Cポールを500mmピッチで格子状に配置し、図6のようにCポールを番線で固定します。【写真6・7】



【写真6】束固定



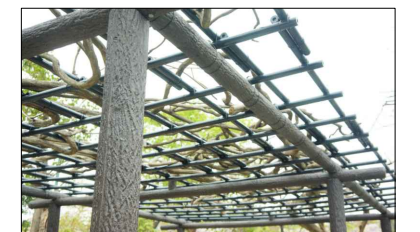
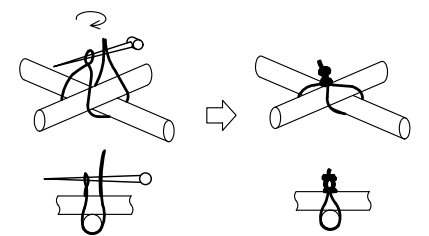
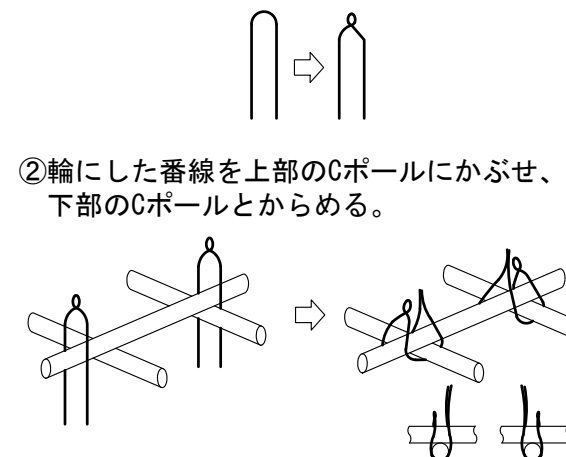
【写真7】Cポール固定

### <番線の縛り方>

①番線をL=900mm位にカットし、番線を半分に曲げ凸部をねじり、輪を作る。

②輪にした番線を上部のCポールにかぶせ、下部のCポールとからめる。

③シノで締めつける。



【固定イメージ】

6. 適宜、金具類に茶又は黒のペンキ(別途手配)を塗り、完成。